

(第3種郵便物認可)

高山市 外国人材活用セミナー

雇用の重要性 社全体で共有



外国人材の受け入れに重要なポイントを解説する千葉さん＝高山市役所で

高山市は3日、コロナ禍後に顕著になった人手不足を受け、初めて「外国人材活用セミナー」を市役所で開いた。福祉関係や宿泊・飲食業などの19社、計25人が参加し、キャリアアマネジメント研究所（横浜市の千葉祐大さんから外国人の採用を成功させるポイントなどを学んだ。

市によると、市内の在留外国人は昨年12月時点で1040人。千葉さんは「5年間で倍に増えた。観光地という特性上、宿泊・飲食サービスに携わる人が38%で最も多かった」と説明した。さらに「外国人雇用の重要性を社全体に伝えることが大事」と強調。「経営陣が頑張っ採用しても、現

場では歓迎ムードでないケースが多い。勝手に仲良くするだろうと放置せず、社内サークルなど仕事以外の場でもコミュニケーションを取れる環境を整えて」と述べた。職場での宗教への配慮についても説明。仕事中に礼拝をする人もおり、千葉さんは「彼らにとっては神と向き合う重要な時間。『こ

こは日本なんだから」と一蹴すべきでない」とし、職員の礼拝スペースを設けている会社を紹介した。戒律をどの程度守るかは人によろしい「同じ宗教だからとひとくくりにせず、何に配慮してほしいか一人一人に聞くべきだ」と語った。（松沢侑香）



資金を活用して整備が予定されている落合宿本陣＝中津川市落合で

落合宿本陣整備へ 中津川市CF開始

中津川市は、国史跡「中山道」に含まれる落合宿本陣（同市落合）の保存活用に向け、整備工事の資金を募るクラウドファンディング（CF）を開始した。ふるさと納税型CFサイトの「ふるなび」で来年1月末まで、「ふるさとチヨイ

資金を活用して整備が予定されている落合宿本陣＝中津川市落合で。CFは2022、23年度にも実施しており、これまでに目標の3倍以上の約1億円が集まっている。本年度の目標額は両サイトで計7千万円。落合宿本陣は、江戸時代

新米がおいしい秋になった。スーパーの棚には、各地から仕入れた米が並ぶ。今夏の品薄時には店を3、4軒回って買えないこともあった。一時的な現象とみられがちだが、生産者からは再び起きて

家の高齢化や担い手不足、近年は農機具や燃料いまの米の価格では立ちと危機感を募らせる。今夏はインバウンド増加による需要増、前年よる不作などが品薄の要因もあったが、根本的に産量が減り続けている。いとみている。このままが続けば、冷涼といわれ域でも米の高温障害のりまる。今月の衆院選。将をどうするのか、喫緊の対策が聞きたい。

飛騨地方の名物を提供する炊き高山市や下呂市など飛騨の住民でランティアセンターと共同で実施もなる」と喜んだ。

飛騨のボ

炊き出しは30日は同県珠洲市で、1日には輪島市河井町の正覚寺境内で、それぞれあり、午後5時すぎから周辺の住民が集まり出した。用意されたのは、飛騨牛のみそ焼き、漬物ステーキ、アユの塩焼きなど。テーブルの上には、名産の日本酒も並んだ。住民は、見慣れない料理

奥能登地方は地震に続き、豪雨で甚大な被害を受けた。飛騨御坊ボランティア委員会の日野光洋さん（47）は「中止も考えたが『こういつ時だからこそ来てほしい』と言われた。飛騨の名物で、少しでも元氣になつてもらえれば。炊き出しはこれからも続けていく」と話した。

警察官を

高山 県警察募集



警察官をテーマにした児童の絵画が並ぶ「こどもけいさつギャラリー」が16日入賞した16作品を紹介して

「で7日から来年1月5日まで募集する。CFは2022、23年度にも実施しており、これまでに目標の3倍以上の約1億円が集まっている。本年度の目標額は両サイトで計7千万円。落合宿本陣は、江戸時代に大名らの宿泊場所だった本陣の建築様式を県内で唯一残している。市が10年前に取得し、老朽化対策と観光活用のため、有識者らと保存活用のあり方を検討している。整備は26年度以降に着工する。（小佐野慧太）

道歴史資料館。来年3月リニューアル中の本格化を（大動脈）に設定。中嶽山といっ根）に連な